

第1回まちづくり推進町民会議を開催

町政に意見・要望 ～ 学校給食や起業などに幅広く

平成25年度第1回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)が5月24日(金曜)10:30から、美深町役場大会議室において開催され、委員20人と町理事者、各課長等あわせて32人が出席しました。同会議は、町内各団体や自治会からの推薦委員、公募委員の30人で構成される住民組織です。会議では、町側から第5次総合計画の平成24年度実施計画や、第4次行政改革実績について説明。まちづくりに関する懇談では、委員から今後のまちづくりに関し、活発な意見が出されました。

会議であいさつする山崎議長



■ 会議の内容 ■

- (1) 山崎晴一議長あいさつ
- (2) 山口町長あいさつ
- (3) 第5次総合計画の平成25年度実施計画-①
- (4) 平成24年度第4次行政改革の推進状況-②
- (5) まちづくりの推進についての懇談-③

① 第5次総合計画の平成25年度事業実施計画

計画 31億1,955万円

平成25年度における新規事業の概要や、予算措置状況などについて説明しました。

② 第4次行政改革推進計画に基づく平成24年度の推進状況

地域計画の策定着手、町ホームページのリニューアル、効率的な行政組織の構築、人事評価制度の研究状況など、計画に基づく推進状況について説明しました。

③ 出席委員からの主な質疑・意見

<質問>～震災復興に充てるため公務員の給与削減の話があり、先週北海道も受け入れると報道があった。市町村レベルではどうするのか。

[回答]～北海道町村会としても反対の姿勢を打ち出しているが、やらなければ交付税に影響が出る恐れも。美深町はこれまで2億を越える削減をしてきている実態。現在、他の市町村と協議しているところであるが、6月議会に向けて検討しているところ。

<質問>～人事評価制度の研究の記載があるが、難しい問題と思う。最近の新聞報道もあるが、研究はしっかり行って美深町なりの考え方で進めてほしい。

[回答]～教職員はすでに始まっている。春に毎年面接して目標を設定して、1年後にどうであったか検証。これは資質を上げていくための評価ということで、直接給与とくに直結している状況ではないが、これを通して教員として適格かの判断などもしている。職員としての力を発揮してもらうという視点での人事評価と考えている。

[回答]～評価する側の正しい評価をきちんと進めないとならない。職員の中でコミュニケーション取りつつ、面接などしながら評価する方向にもっていきたい。上下の関係を良好にして行政を活発に進めることに目的をおいて進めるところ。

<質問>～公営住宅の長寿命化について。恩根内の老朽化住宅に3世帯入っているが、今後の考え方は。

[回答]～ご質問の住宅は町有住宅。ある程度耐用年数で解体する考えのもの。公営住宅はこれまで整備してきて今は民間住宅にシフトしつつある。公有住宅は耐用年数まで使いたい考え。課題は承っているが、将来的には解体の考え。恩根内の住宅対策をどうするか地域とも相談していかなければならない時期に来ている。

<質問>～防災端末で火事の情報には流せないものか。

[回答]～現在準備を進めている。火災発生時の鎮火サイレンは条例等に規定がないので平成16年4月から行っていないが防災情報端末機で行うことを考えている。

<質問>～どこが火事かなど流せないものなのか。

[回答]～発生現場について住所、所有者を端末で提供する予定でいる。発生から流すまでには、少し時間がかかるがやれる範囲でやりたい。

<質問>～携帯電話の位置情報取得について、国や通信事業者も対応すると報道があったが、内容はすでに来ているのか。

[回答]～具体的にやるのは時間がかかる状況。消防庁舎の改修なども考えている。

<質問>～端末機で110番、119番への通報はできないのがどう考えても不都合。どうしてできないのか。

[回答]～設置時からの問題。消防は何とかができないか協議もしているが、現時点では難しい。私も理解はしている。警察は緊急通報に決まりがあり、町内だけというものはできないと聞いている。消防は今後十分協議していきたい。



▲町民会議開催のようす